

【資料】 令和元年度(平成31年度) 教育委員会委員活動状況について

(1) 教育委員会の会議回数等

年	月	月日	議案	協議事項	報告事項
平成31年	4	H31.4.19	0	2	1
令和元年	5	R1.5.28	1	0	3
	6	R1.6.24	3	1	1
	7	R1.7.11	0	1	0
		R1.7.26	0	1	1
	8	R1.8.26	7	0	2
	9	R1.9.30	0	1	1
	10	R1.10.16	0	0	1
	11	R1.11.29	2	1	1
	12	R1.12.20	0	1	1
	令和2年	1	R2.1.27	0	0
2		R2.2.25	4	2	2
		R2.2.29	0	1	0
3		R2.3.27	1	0	1
計(14回)			18	11	16

(次回教育委員会日程は除く)

(2) 令和元年度 教育委員の学校園等訪問 <13日間、16箇所>

(小・中学校8、認定こども園4、子育て支援センター2、学校給食センター、こども相談室)

月日	午前	午後
R1.10.3	浜坂中学校	
R1.10.4	浜坂認定こども園	
R1.10.7	浜坂西小学校	
R1.10.8	浜坂北小学校	
R1.10.10	ゆめっこ認定こども園 温泉子育て支援センター	浜坂北小学校(給食)
R1.10.15	学校給食センター 浜坂子育て支援センター	
R1.10.16	浜坂東小学校(給食)	子ども相談室
R1.10.17	浜坂南小学校	
R1.10.18	大庭認定こども園	
R1.10.21	照来小学校	
R1.10.23	明星認定こども園	
R1.10.29	夢が丘中学校	
R1.10.30	温泉小学校	

(3) その他活動

月日	内容	場所	出席人数
R1.5.17	県 連合会総会・研修会	加西市	2名
R1.6.28	県 女性教育委員総会・研修会	相生市	1名
R1.7.5	但馬連合会総会・研修会	養父市	4名
R1.8.2	但馬連合会 女性教育委員研修会	養父市	2名
R1.8.20	全県夏季教育委員会研修会	神戸市	1名
R1.9.19	市町村教育委員研究協議会	神戸市	1名
R2.2.13	但馬地区教育委員研修会	豊岡市	2名

- ・ 入学(園)式
- ・ 各学校園運動会
- ・ オープンスクール
- ・ 新温泉町子ども議会
- ・ 卒業(園)式

【資料】

令和元年度（平成31年度） 社会教育施設の成果と課題について

施設名		成果と課題	
1	加藤文太郎記念図書館	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・開館25周年を迎え、記念事業として加藤文太郎を主人公とした戯曲「山の声」を新温泉町出身の役者により実施し、町内外の住民の交流と中学生を含めた多くの方の舞台芸術への関心をたかめ、加藤文太郎の啓発をすることができた。 ・令和2年度から始まるプログラミング教育の導入として児童・一般を対象とした教室を開始した。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用に関しては感染症や悪天候や高齢化により貸出しが減少傾向にあるが、次年度はより高齢者や若者にも配慮し、町民全体の利用ニーズにあわせた幅広い蔵書を構成し、図書館に足を運びたいとなる事業も検討する必要がある。
2	浜坂先人記念館	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、新温泉町民の作品展(宮元夫妻展・島田4人展・タペストリー(湊順子)展)は、町民の来館者が多かった。また、令和元年度図書館開館25周年記念事業「二人芝居 山の声」を以命亭ホールで開催し、多くの町民に来館していただいた。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近年展示内容の固定化により、年間券の発行と年間券利用者が年々減少しており、魅力のある展示やPRなど周知方法を検討していく。
3	体育施設	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ施設の各種団体等の利用者数は、例年と大きな変動もなく利用されている。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに経年劣化等による老朽化が激しく、今後は体育施設の耐震補強も併せて、計画的に大規模修繕または改修をする必要がある。 ・艇庫事業においては、学校教育や、観光面、北前船を促進する諸寄地域などと連携して利用促進を図っていく。
4	八田コミュニティセンター	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室については、引き続き地域にゆかりのある作品展等を積極的に開催した。 ・展示室については、兵庫県立人と自然の博物館や南港ATCホールで開催されたイベントに当館所有の化石を展示したことにより、来館者の増につながった。(年間来館者数 3,052人 対前年比116.2%増)
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室で開催される展示会等について、様々な情報ツールを活用して積極的なPRを行っていく必要がある。 ・今後の施設利用促進として、学校教育などとの連携を図り、教育面・観光面での利用促進を図る取組みが必要である。
5	町民センター図書室	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度11月以降に貸出期間の延長と冊数の増加により、利用率の増加を図ることが出来た。(人数 対前年比119.6%増、貸出冊数 対前年比111.8%) ・図書室の改善と新刊購入冊数の増加による成果が感じられた。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も図書室の利用のPRを続けていく必要がある。 ・図書室利用者のニーズ(絵本・児童書等)にあった蔵書図書を検討する必要がある。
6	文化体育館「夢ホール」	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・夢ホール改修工事のため、ホールの利用は、8月末までであったが事業は予定通りに実施。また、改修工事についてはほぼ予定どおりに進捗。
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強・改修工事期間中のイベントなどの他の公共施設への振替調整と合わせ、一度離れた利用者が改修後に再び利用したくなる企画・立案を計画する。また豊岡に新設する専門職大学などとの連携をさらに図る必要がある。 ・工期内の工事完成に向け進捗管理を行う必要がある。